

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 7 月 1 日(2022.7.1)

【公開番号】特開 2021-357(P2021-357A)

【公開日】令和 3 年 1 月 7 日(2021.1.7)

【年通号数】公開・登録公報 2021-001

【出願番号】特願 2019-116462(P2019-116462)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 22 日(2022.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者に有利な特別遊技状態にするかの判定を行う判定手段と、
 所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を有する遊技機であって、
 前記演出実行手段は、
 前記判定手段による前記判定の結果に基づいて、前記特別遊技状態になることを示唆可能な所定の予告演出と、
 所定の特定段階に向けて特定表示を変化させる特定演出と、を実行可能であり、
 前記予告演出を、前記特定演出にて前記特定表示が前記特定段階まで変化した際に実行可能であり、
 前記特定演出では、前記特定表示の変化を中断することがあることを特徴とする遊技機。

30

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機であって、
 前記演出実行手段は、
 前記特定表示が示す段階を変更する変更演出を実行することがあり、
 前記変更演出を行ったときと行わなかったときとで、前記特定演出にて前記特定表示の変化を中断する確率が異なることを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機であって、
 前記特定演出にて、前記特定表示の変化が中断されたときと実行されなかったときとで、
 前記特別遊技状態になる期待度が異なることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明の遊技機は、
 遊技者に有利な特別遊技状態にするかの判定を行う判定手段と、
 所定の演出を実行可能な演出実行手段と、を有する遊技機であって、

50

前記演出実行手段は、
前記判定手段による前記判定の結果に基づいて、前記特別遊技状態になることを示唆可能な所定の予告演出と、
所定の特定段階に向けて特定表示を変化させる特定演出と、を実行可能であり、
前記予告演出を、前記特定演出にて前記特定表示が前記特定段階まで変化した際に実行可能であり、
前記特定演出では、前記特定表示の変化を中断することがあることを特徴とする。

10

20

30

40

50